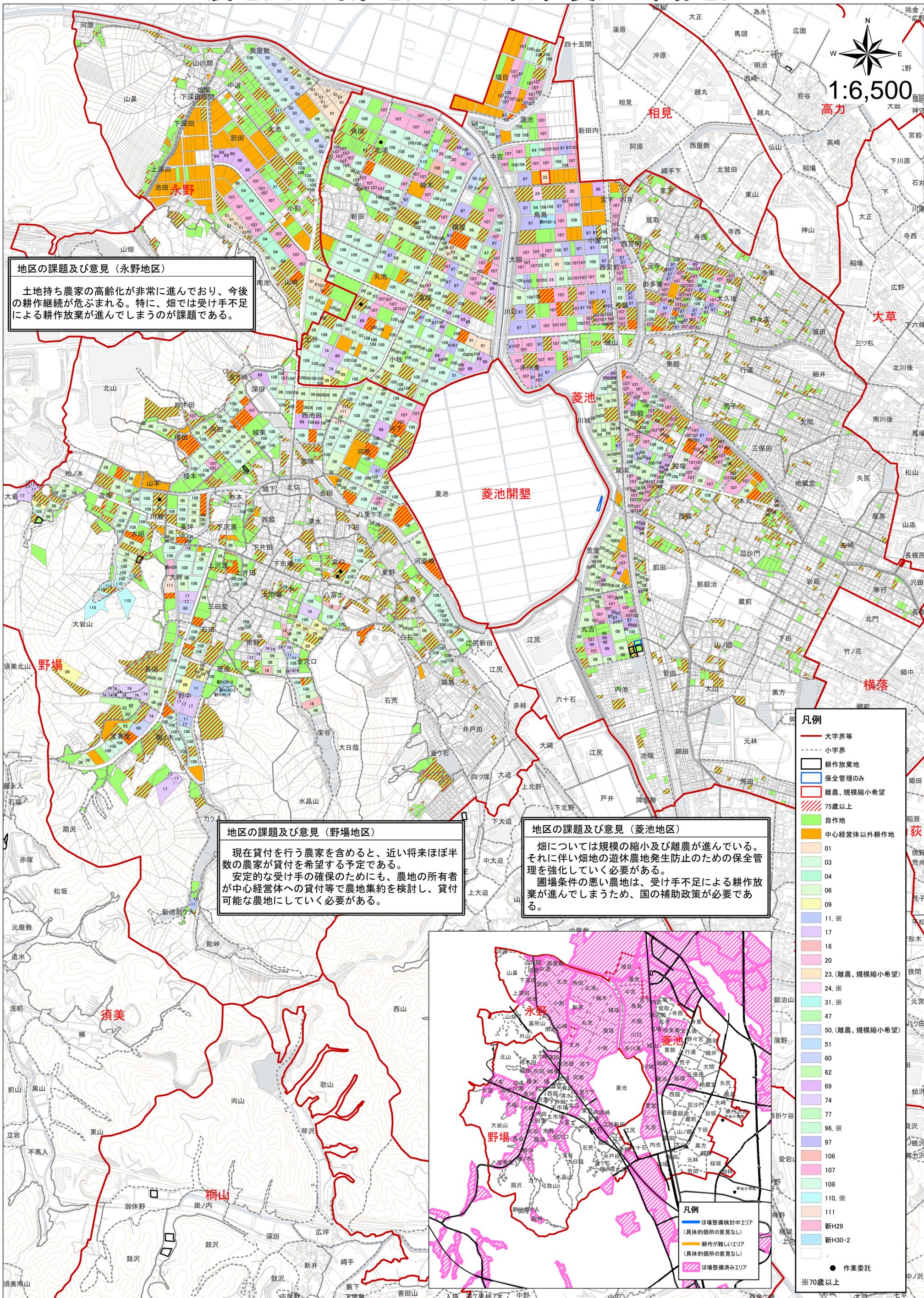


人・農地プラン対象地区：大字永野・菱池・野場地区



1:6,500

地区の課題及び意見（永野地区）

土地持ち農家の高齢化が非常に進んでおり、今後の耕作継続が危ぶまれる。特に、畑では受け手不足による耕作放棄が進んでしまうのが課題である。

地区の課題及び意見（野場地区）

現在貸付を行う農家を含めると、近い将来ほぼ半数の農家が貸付を希望する予定である。安定的な受け手の確保のためにも、農地の所有者が中心経営体への貸付等で農地集約を検討し、貸付可能な農地にしていく必要がある。

地区の課題及び意見（菱池地区）

畑については規模の縮小及び離農が進んでいる。それに伴い畑地の遊休農地発生防止のための保全管理を強化していく必要がある。圃場条件の悪い農地は、受け手不足による耕作放棄が進んでしまうため、国の補助政策が必要である。

- 凡例**
- 大字界等
 - - - 小字界
 - 耕作放棄地
 - 保全管理のみ
 - 離農、規模縮小希望
 - ▨ 75歳以上
 - 自作地
 - 中心経営体以外耕作地
 - 01
 - 03
 - 04
 - 06
 - 09
 - 11.※
 - 17
 - 18
 - 20. (離農、規模縮小希望)
 - 24.※
 - 31.※
 - 47
 - 50. (離農、規模縮小希望)
 - 51
 - 60
 - 62
 - 69
 - 74
 - 77
 - 96.※
 - 97
 - 106
 - 107
 - 108
 - 110.※
 - 111
 - 新H29
 - 新H30-2
 - 作業委託
 - ※70歳以上

